

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】水俣市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
11	2006.3.31			熊本県	水俣市	29,784	162.87
構想の要約		家畜排せつ物については、畜産農家1戸ごとに通電透析発酵システムを設置し、液肥利用や排水処理が可能となるシステムの実用化を目指す。林地残材や建築廃材等の木質バイオマスから付加価値の高い製品の製造及びバイオマス発電を行い、廃棄物としてしか捉えられない未利用木質資源の利活用を推進する。					
構想に盛り込まれた事業		木質系バイオマスを用いたストランドボード製造事業 木質系バイオマスを燃料とする発電事業 畜産系廃棄物処理事業					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油		果樹剪定枝	○	
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他(草木)	○	
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(ストランドボード、敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

	①賦存量	②既利活用 量	③構想の利活 用量	構想の利活用目 標割合 (③) / ①
廃棄物系バイオマス	3,269 t	2,242 t	3,018 t	92 %
未利用バイオマス	1,565 t	181 t	629 t	40 %
合 計	4,834 t	2,423 t	3,647 t	75 %

(注) 廃棄物系:食品残渣、し尿及び浄化槽汚泥、家畜排せつ物、建築廃材、製材工場等残材
(注) 未利用:林地残材(間伐材、被害木など)、もみ殻、稲わら、野菜非食部、剪定枝、草木

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)